

首都圏本部

「被災した鉄道の復旧形態に関する研究」 で博士号取得

当本部の企画総務部 永井シニアリーダーが、「被災した鉄道の復旧形態に関する研究」で筑波大学から博士(社会工学)の学位を授与されました。東日本大震災で津波被災線区の復興計画推進における経験を活かした早期修了1年での博士号取得です。5月18日には、首都圏本部で講演会を開催したほか、今後、他箇所でも講演を予定しています。



横浜支社

南武線稲田堤駅の発車メロディがリニューアル

南武線稲田堤駅では、8月6日の自由通路(南側)および橋上駅舎の利用開始に合わせて、1・2番線ホームの発車メロディが地元ゆかりのある「丘を越えて」に変わります。全国のギターコンクールで受賞実績を持つ、地元の「神奈川県立多摩高校ギターアンサンブル部」による生演奏を収録した音源が流れます。



八王子支社

其田選手が世界陸上2023の マラソン日本代表として出場

3月29日、東京都内で「ジャパンマラソンチャンピオンシップ(JMC)シリーズIIアワード」が開催され、JMCシリーズIIにおいてチャンピオンとなった其田 健也選手(JR東日本ランニングチーム)が授賞式に出席しました。さらに、8月27日(現地時間)に開催された「ブダペスト2023世界陸上競技選手権大会」のマラソン競技に出場、力走しました。



大宮支社

「鉄道のまち大宮」のロゴマークが決定

5月13日、一般投票で選ばれた「鉄道のまち大宮」のロゴマークを発表しました。ロゴマークは「大宮」という地名の由来である「大なる宮居(みやい)」から、宮の頭文字「M」を鉄道のレールに模し、各方面への新幹線カラーをイメージしています。当社に限らず自治体や企業にも使用いただき、地域とともにさまざまな取り組みを行っていきます。



高崎支社

「昭和レトロ展」に鉄道古物を出展

5月8日まで高崎タカシマヤで開催された催事「昭和レトロ展」(主催:株上毛新聞社)に、高崎支社から鉄道古物を出展しました。現在は使われていない懐かしの駅名看板や掲示物、きっぷの券面に使用されたスタンプを収納した木箱などの貴重な品々を並べ、昭和の鉄道文化の一端とそのノスタルジックな魅力を紹介し、地域のイベントを盛り上げました。



水戸支社

E657系フレッシュひたちリバイバルカラー 車両撮影会の第4弾を開催

6月10日、茨城デスティネーションキャンペーン開催(10月1日~)を記念し、フレッシュひたちリバイバルカラーを施したE657系電車の4編成目のお披露目を兼ねた撮影会を開催しました。新たに塗色した4編成目の車両(青色)と1・2・3編成目(緑色・紅色・黄色)を並べて展示したほか、普段は見ることができない行先表示の演出や、ポストカードのプレゼントなど、工夫を凝らしてお客さまをおもてなしました。初参加の方はもちろん、リピーターの皆さまなど多くのお客さまから好評をいただきました。



千葉支社

「BOSO地酒バルトレイン」を運行

7月8～9日、南房総・北総エリア沿線の酒蔵の地酒12種類とリキュール3種類が試飲できる「BOSO地酒バルトレイン」を、全6回運行しました。各回満員となった「B.B.BASE」の車内では、お客さまに夏の房総の自然を眺めながらお酒を楽しんでいただいたほか、車内や停車駅では地域と連携したおもてなしも実施し、房総の魅力を満喫していただきました。



長野支社

MaaS施策「旅する北信濃」を社会実装

4月1日、長野県の北信濃エリアで実施してきた「旅する北信濃」を、通年で利用できるサービスとして社会実装しました。「旅する北信濃」は内閣官房主催「冬のDigi田甲子園」で準優勝を収め、大変注目されているMaaS施策です。今後も地域と連携しながら、長野を訪れるお客さまに便利でおトクな“スマホひとつの旅”を提供していきます。



東北本部

第39回「仙台・青葉まつり」に参加

5月20～21日に仙台市中心部で開催された「仙台・青葉まつり」に参加しました。4年ぶりに通常規模で開催されたことから、東北本部や新幹線統括本部、JR仙台病院をはじめグループ会社社員や家族の皆さんが山鉦の巡行やすずめ踊りを披露しました。これからも、東北本部は地域とともに歩んでいきます。



盛岡支社

「SL銀河」ラストシーズンの運行開始

3月25～26日、「SL銀河」はラストシーズンの運行を開始。両日とも主な停車駅で、沿線自治体の皆さまによる郷土芸能の披露やおもてなしが行われました。3月20日は営業運行に先立ち、これまで支えていただいた関係者の皆さまを招待、21日には沿線の皆さまへ感謝の気持ちを込めてナイトクルーズで招待列車を運行しました。



秋田支社

秋田犬「ちよめ」に鯉ヶ沢駅観光主任を委嘱

4月24日、青森県鯉ヶ沢町の人気秋田犬「わさお」の養女「ちよめ」に五能線鯉ヶ沢駅の「観光主任」の委嘱状を交付し、ちよめの今年度初めてのお仕事として観光列車「リゾートしらかみ」をお出迎えしました。これからも地域と連携して、イベントやおもてなしで駅や地域を盛り上げ、世界自然遺産登録30周年を迎える白神山や五能線沿線の活性化につなげます。



新潟支社・(株)ジェイアール東日本企画

上越新幹線速度向上プロモーション動画が「交通広告グランプリ2023」優秀作品賞を受賞

今年3月18日のダイヤ改正より、上越新幹線は275 km/h運転を開始し、東京～新潟間は最大で7分短縮となりました。今回の速度向上を首都圏や新潟・庄内エリアのお客さまに発信すべく制作した「上越新幹線速度向上15秒動画“ジョイマン”篇」が、交通広告グランプリ2023 デジタルメディア部門の優秀作品賞に輝きました。



JR北海道と異常時対応訓練を実施

7月6日、東北新幹線電力技術センター 青森新幹線メンテナンスセンターでは、JR北海道と合同で運行管理境界付近における異常時対応訓練を実施しました。他社エリアで飛来物が発見された場合の対応を相互に確認し、現場と指令間での情報共有の仕方、他社エリアへの立ち入り方について理解を深めることができました。今後も“チーム新幹線”として、新幹線の安全・安定輸送に寄与できるように励みます。



新宿駅ナイトツアーを開催

7月21日、新宿電気システム工事区では、「携わっている現場や設備を見て、私たちの使命や業務を知ってほしい」という社員の発意から、新宿駅工事関係者の協力のもと、社員の家族を中心に新宿駅ナイトツアーを開催しました。今後も同様の取組みを発展させ、鉄道電気の魅力を広く発信していきます。



おしごと体験学習「ことむすび」に参画

4月29日、JR東日本の新規事業であるおしごと体験学習「ことむすび」の第1回プログラムとして、当社の機械設備技術研修センター（メカトレ）で、座学と実際の設備機器を組み合わせた体験講座を提供しました。当日は小学生とその保護者30組61名に参加いただき、Suica・きっぷ・改札機・ホームドアの仕組みを学んでいただきました。お子さまだけでなく、親世代の皆さまにも大変好評でした。



EDWINとコラボしたSuicaのペンギングッズを販売

当社では、ファッションブランドEDWIN（エドウィン）のブラックデニムを使用したSuicaのペンギングッズの販売を開始しました。固いイメージのデニム生地ですが、どの商品もとても柔らかく使いやすくなっています。ぬいぐるみをはじめ、トートバッグやサコッシュなど、お客さまから大変好評をいただいています。ぜひ、鉄道グッズ店舗「TRAINIART（トレニアート）」にお立ち寄りください。



©Chiharu Sakazaki / JR東日本 / DENTSU SuicaはJR東日本の登録商標です。SuicaのペンギンはJR東日本のSuicaのキャラクターです。

動物と暮らすシェアリビング「ちゃのまる」がオープン

当社が運営する、保土ヶ谷駅直結のショッピングセンター「ビーンズ保土ヶ谷」では、地域の皆さまとともに動物への理解を深め、“ちゃのま”のように時間や空間を共有する新しい形のサードプレイスの創造をめざす「ちゃのまる」を期間限定でオープンしました。



オフィスアートのライブペインティングを開催

アートのある毎日をお届けする「LUMINE meets ART PROJECT」では、当社社員の五感を刺激し創造力をかき立てるオフィスアートを展開しています。今年度は本社で、4月11日に絵描きのLee Izumida（リーズミダ）さんとライブペインティングを開催し、「MOUNTAIN」を描き上げました。

